

(仮称) 医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者フォローアップ交流会 (案) について

作成：尾瀬（てくてく）

1. 趣旨

- 2018年度より京都府でも始まった「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」の趣旨を踏まえ、乙訓圏域の受講修了者が研修で学んだことをその後どのように活かし、地域で生活する医療的ケアを必要とする人やそのご家族（以下「要医療的ケア児者等」）の支援に関わっているのか、日々の支援の中で課題となっていることは何か等、支援の実際について確認する。
- 修了者相互の交流の場とし情報・意見交換等を行うことで、相互の学びを深めるとともに、要医療的ケア児者等の支援に係る乙訓地域でのネットワークづくりに活かす。

2. 主催 乙訓圏域障がい者自立支援協議会 「医療的ケア」委員会

3. 対象 2018年度・2019年度 研修修了者

4. 日時 2020年度内

5. 場所 乙訓保健所もしくは乙訓福祉施設事務組合

6. 内容 要医療的ケア児者支援に関する現状・課題の交流、意見交換、今後の取り組み（研修等）に関する検討、等

7. 今後の進め方

- 対象者のピックアップ 直接対象者に案内を送付する。
- 事前アンケートの実施（別紙案） 事前アンケートにより、現状を整理し、交流会当日の進行に活かす
(日時調整もアンケートを取って行うかどうか)

8. その他

- 新型コロナの感染状況等を勘案し、実施方法等を検討する必要がある。
(状況によって今回はアンケート集計とフィードバックのみという形もあるかもしれない)

事前アンケート項目（案）

1. 所属 相談支援事業所（委託、指定） 障害福祉サービス事業所（種別： ）
医療関係機関（種別： ）、行政（職種： ）、その他
2. 職種 相談支援専門員、障害福祉サービス職員（職種： ）、その他（職種： ）
3. 業務経験 ①障害のある方に関わっている期間（通算 年 月）
②現在の機関・事業所で現在の職務に携わっている期間（ 年 月）
4. 取得している資格 社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、その他福祉・介護系資格（ ）
看護師、その他医療系資格（ ）、その他（ ）

5. 日常の支援に関して

- ① （研修修了後）医療的ケアが必要な方への支援を行ったか 有・無

→「有」の場合

- ア) 人数 支援を行ったケース数（ 名） 【参考】所属事業所全体としての対応者数（ 名）
- イ) 対象者の年齢層（人数） 乳幼児（就学前）・就学期児童・成人（卒後）、介護保険対象者
- ウ) 生活の状況（人数） ご家族同居、グループホーム、施設、単身、その他
- エ) 必要とされるケアの種類（具体的に挙げてもらう）
- オ) いつから、どのような経過でつながったか（具体的に挙げてもらう）
- カ) 連携している機関・事業所等（固有名詞ではなく種別で具体的に挙げてもらう）

→「無し」の場合 今後支援を行う予定や見込みはあるか（あれば具体的に）

- ② 要医療的ケア児者の支援に関して難しいと感じる事、悩んだり困ったりすることは
- ③ 要医療的ケア児の支援を通して、達成感ややりがいを感じられることは
- ④ 要医療的ケア児者支援に関するスーパービジョン（助言・指導等）について
受けることができているか 有・無。

→「有」の場合具体的にどのようにしているか

→「無」場合、どのように問題の解決を図っているか

※相談支援事業所の方のみ 「要医療児者支援体制加算」算定について 有・無

6. コーディネーター養成研修について

- ① 研修を受講して、「コーディネーターの役割」が理解（イメージ）できたか

→「はい」の場合 その役割はどのようなものと考えているか

→「いいえ」の場合 どのような点が理解（イメージ）できなかったのか

- ② 今後「コーディネーター（研修修了者）」として、取り組んでいきたいと思うことは何か。
- ③ 研修で足りないと感じたこと、もっと学びたかったと思われることは

7. 今後の交流・学習について

- ① 今回の交流会で話したいこと、聞きたいこと、情報交換したいこと等は
- ② 今後、研修の機会があれば学びたいことは